

森島社だより

第 6 号
H. 1. 12. 1

お年寄り

庄司 善男

その一 夢の紙芝居

あるところに、夫婦と四才になる子供、そして年寄の四人が大きな家になんの不自由もなく暮らしていた。

食事も一家そろっての毎日であったが、ある時、身体がだんだん弱くなってきた年寄がテーブルに御飯やオカズをこぼすようになってきた。そこで年寄を隣の部屋で一人で食事をとらせようとした。おだやかな年寄はただ黙って、文句一つ言わず、それに従うのみであった。

それから数日たったら、こんどは食事の入ったままのセトモノの器を床に落として割ってしまった。それでは、落としても割れない「木の食器」で食事を与えることにした。

そんな日が幾日か過ぎたある日の午後、子供部屋を覗くと部屋一パイに木片を集め、盛んに木を削っており、未完成の一ツを手を飾して、「父さん、母さんが年寄になったとき、この『木の皿』で一人部屋で御飯を食べさせるんだ」と誇らしげにいった。もちろんその日の夕餉からは、美しい食器に美味しそう

な料理が四ツ、同じテーブルにならべられていた。

無邪気で素直な子供の観察と行動、それにほだされた夫婦の処置の早さに思わず拍手を送ったところで目が覚めた。

その二 頼りになる人

◎ 嫁よりも

娘頼りの

老夫婦

◎

の句について「口惜しい、口惜しい」あまりの口惜しさに入選とした、という変わった評が、ある週刊誌の川柳欄に載っていた。そして選者は、娘より

嫁が頼りの

老夫婦

◎

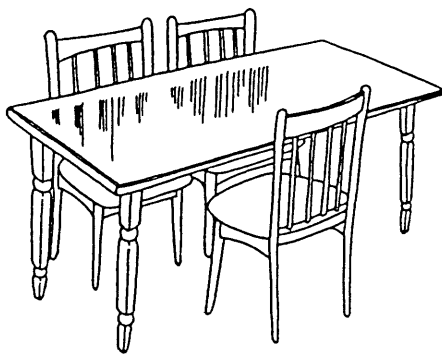
と筆を加えている。このほうが句にドラマが生まれるし、川柳としての味を濃くするものだと書いている。

素人の私などは、仲々こうした芸当ができないくせに原稿と添削句では事実関係がまるで逆で、真実じゃないなどと理屈で考えてしまう。

それはともかく、この夫婦、仲良く健康な毎日を過ごしている。ある夜、フト将来のことを考えた。……若し病気になったら、妻に早く倒れられたら……などなど。

そんな時、頼りになる人は誰だろうか。「止まれ」世の中は皆善人だ、娘もいるんだ、そして隣所だつてよい人ばかり多いんだ、マア「川柳でも作って長生きしてけれ」と頼まれもしないのに願うのみである。

(施設長)



森泉荘のおじいさん
おばあさんへ

前田小学校の
一年生からの手紙

お手紙を紹介致します。
(できるだけ原文に近い形
で、紹介させて頂いたさま
す) △

☆ しんせんそうの おばあ
さんと おじいさん わた
しがたの おどりと がっ
そう どうでしたか。また
きたら みせて あげます
から こんどいくまで まっ
ててね。わたしが ひいた
のは すずむしの でんわ
と きらきらぼしと おう
まの おやこを ひきまし
た。

☆ ぼくは しんせんそうに
いって おもしろかったで
した。ぼくは しんせんそ
うの 人と おはなしを
したかったです。すずむし
の でんわや きらきらぼ
しと おうまを うたった
とき まちがったところも
あったけど とても おも
しろかったでした。

きくち しんたろう

▽ 去る一月八日、前田小
学校1年生が慰問にみえ、
合奏、歌、遊戯などを披露
して下さい、花束のおみや
げまでいただきました。

十一月三日には、前田
小学校の織山成子先生から
次のような手紙をいただき
ました。 △

◇ ◇ ◇ ◇ ◇ ◇ ◇ ◇ ◇ ◇
『前略、ごめんください。
先日、一年生がおうかがいし
た時は、送り迎えしていただ
いたり、帰りにはおみやげま
でいただいた、どうもありが
とうございました。子供たち

が書いた手紙を同封しますの
でごらんになってください。』
(原文のまま。)

▽ この手紙をいただきてか
ら、毎日の放送で一人ずつ
紹介しました。「よく、手
紙ごよしてくださった」と
感激もひとしお。そうした
なかで新林キヌさんと三浦
イトさんが返事の手紙を書
いてくれましたので、一年
生の皆さんの手紙と一緒に
ここに、掲載したいと思っ
ます。 △

▽ まず、一年生の皆さんの

☆ しんせんそうの おじい
さん おばあさん げんき
ですか。ぼくは げんきで
す。ぼくは、さらだのマー
チで きんちようしました。
ぼくは しんせんそうの
人たちの びょうきが な
おると いいです。

よしだ みさと

☆ しんせんそうの おじい
さん おばあさん げんき
ですか。ぼくは げんきで
す。ぼくたちが しんせん
そうに いって すずむし
さんと きらきらぼしと
おうまの おやこを やり
ました。みなさん さよう
なら。

さとう けん

せきぐち としゆき



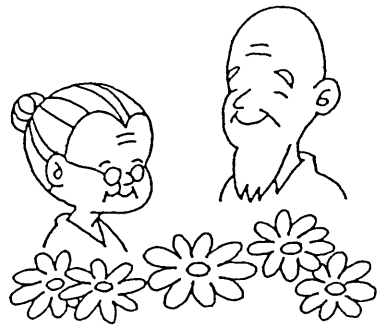
☆ しんせんそうの おじい

さん おばあさんへ

ぼくは、もっと あそび
たかったです。ぼくたちは
おどりを いっしょうけん
めいに れんしゅうしまし
た。ぼくは、まちがえない
で、できたんだよ。ぼくは、
おじいさんや おばあさん
と、あくしゅを、したかつ
たです。はやく げんきに
なつてね。また あそびに
いきたいです。

あさ 6じに いつも
いぬの さんぽに 下まえ
だに、いっています。
ますかた しゅういちろう

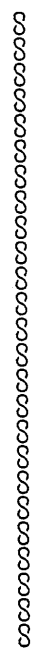
☆ きのう ぼくは、しんせ
んそうに、いって、すずむ
しさんの でんわと、きら



きらぼしと、おうまとさ
らだのマーチを、やったと
き、むねが、どきどきし
ました。ぼくも、おじいさ
ん、おばあさんと、あくしゅ
をしたかったです。ぼく
は、おじいさんと、おばあ
さんに、おはなも、やりた
かったです。みちるくんと、
みか子ちゃん、しょうじ
かな子ちゃんが、おじいさ
んと、おばあさんと、おば
あさんと、おはなを、やっ
ているの、ところが、おも
しろかったです。それで

たくさんの おじいさんと、
おばあさんと、なかよしに
なりたかったです。もっと
しんせんそうに、いて、う
たや、がつそうを、やりた
かったです。また、らいね
ん、いくので、まっけて
ください。ぼくは、おじい
さんと、おばあさんたちが
ぼくたちが、やった、うた
や、がつそうを、やったの
を、はくしゅを、やったと
ころが、おもしろかったで
す。しんせんそうに、まだ
いたかったです。

しょうじ ゆうや



一年生のみなさんへ

お返事

↓ 前田小学校の一年せい
のみなさん、このあいだの
いもん、どうも、ありがと
う、ございます。ほんとう
に、おもしろかった、お手
紙までいただき、ありがと
う、ございます。よく、じよ

うずに、おどったり、うた
たりと、おもっています。
せんせいの、おしえが、よ
いからだと、おもっていま
す。私が子供のころのこと
を、おもいだしました。よ
く、あそび、よくまなび、せ



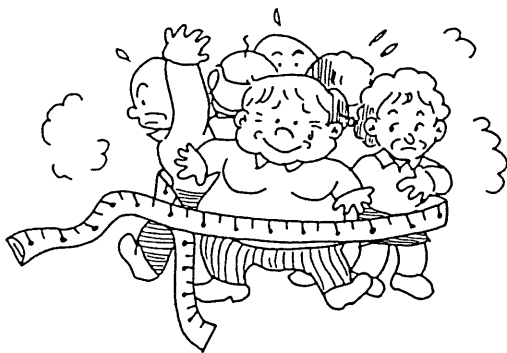
んせいのことを、きいて
べんきやうを、して下さい。
おとさんや、おかさんのこ
とを、よくきいて、べんきや
うをして、よい人になるよ
うに、がんばって下さい。
私は、大正うまれの人だから、
子供たちに、学校でならつ
たことを、ふくしゅうして
みなさいと、おきました。
いまは、子供たちは、みん
な、はなれて、だれもいま
せんが、まごが、学校から
かえりに、よつていきます。
どこの子供たちでも、くる
のが、たのしみです。一六
日は、森泉荘でも、ゲーム
大かいして、おじいさんや
おばあさんが、よろこんで
います。私は、かせをひいて
やりませんでした。
子供たちも、かせをひかな
いよう、して下さい。
さようなら
子供たちに
また、あそびにきて下さい
新林 キヌ

↓ 一年生の皆様方へ
前略、
此の度は、一年生の皆様方よ
り、お手紙を頂きまして、
誠に有難う御座いました。

『森泉荘日記』

平成元年

- 《七月 一日》
補聴器診療車来荘。
- 《七月 三日》
阿仁町菫蒲園ドライブ。参加一八名。
- 《七月 七日》
理容の日。
- 《七月 九日》
七夕。短冊に願いを。
- 《七月 九日》
参議院議員選挙、不在者投票。
- 《七月 二〇日》
自由ドライブ。二名。大館市へ。
- 《七月 二四日》
七月生、誕生会実施。誕生者、四名。
- 《七月 三一日》
理容の日。
サマー・ショート・ボランテニア。米内沢高等学校の女生徒五名。(八月三日まで)
- 《八月 一日》
弘前学院短期大学、田崎さん、ボランテニア(八月五日まで)
- 《八月 一日》
秋田短期大学、柴田さん、栄養士実習(八月一二日まで)
- 《八月 一日》
お盆帰省開始。第一号は、清水キクさん。
- 《八月 九日》
盆供養。読経、講話は全館放送。
- 《八月 二八日》
八月生、誕生会実施。誕生者、五名。花火大会実施。夏の一夜を楽しむ。
- 《九月 一日》
森吉町主催、敬老式。対象者四二名。出席家族、一二組二一名。最高齢、後藤やささん九二歳。米寿、八代 重夫さん 福士 リエさん
- 《九月 六日》
森吉町、町議会議員、不在者投票。
- 《九月 一二日》
自由ドライブ。二名。大館市へ。
- 《九月 一四日》
一五夜。
- 《九月 一八日》
理容の日。
- 《九月 二六日》
九月生、誕生会実施。誕生者一名。
- 《九月 二八日》
自由ドライブ、二名。大館市へ。
- 《一〇月 一六日》
秋季、避難訓練。
- 《一〇月 一九日》
自由ドライブ、二名。鷹巣町へ。
- 《一〇月 二三日》
一〇月生、誕生会実施。誕生者二名。
- 《一〇月 二六日》
自由ドライブ、二名。鷹巣町へ。
- 《一〇月 二七日》
鍋料理開始。第一回は好評「だまつこ鍋」
- 《一〇月 二七日》
一〇月生、誕生会実施。誕生者八名(うち一名は、短期利用者)
- 《一〇月 二六日》
自由ドライブ、二名。鷹巣町へ。
- 《一〇月 六日》
理容の日。
- 《一〇月 一六日》
第一七回ゲーム大会。
- 《一〇月 二〇日》
映画会「旗本退屈男」
- 《一〇月 二二日》
鍋料理開始。第一回は好評「だまつこ鍋」



厚く御礼申し上げます

平成元年七月

平成元年一月

奉仕・慰問

七月 八日 庄司 和子
 七月 一七日 神成婦人会
 八月 八日 阿仁部美容師
 組合
 九月 七日 神成婦人会
 一〇月 二一日 前田保育所
 一二月 八日 前田小学校
 一年生

善意

▽ 藤本 英夫
 市川京子・市川シメ
 渡辺 一成
 神成婦人会
 庄司 善男
 藤本 一郎
 米内沢婦人会
 森吉町商工会婦人部
 伊藤 鉄治
 浦田小学校
 戸嶋愛子・篠内八重子
 篠内勇・佐藤通子
 日本たばこ大館営業所
 原田 キミ
 根子老人クラブ
 前田薬局

敬称は略させて
 いただきました。

☆新入所者紹介☆

七月〜十一月末までの新し
 い仲間をご紹介します。

羽柴 三次郎さん(七二)
 比内町

新林 キヌさん(七一)
 森吉町

加賀 サトさん(六五)
 森吉町

関口 カ子エさん(七五)
 森吉町

以上四名。

▽こらむ△



◎ 本年度始めて実施した自
 由ドライブも、一〇月に無
 事終了。二〇名位が、大館
 市での買い物、森吉町米内
 沢の浜辺の歌音楽館の見学、
 一〇月にオープンしたばかり
 の鷹巣町大太鼓の館の見
 学などを楽しんだ。
 今後もできるだけ小人
 数のドライブなど計画して、
 施設に閉じこもることのな
 い生活を計画していきたい。
 なお、このドライブを計
 画するにあたって、大館市
 水交苑、田代町・長慶荘、
 鷹巣町・青山荘の各特別養
 護老人ホームの協力をいた

だいた。これらの施設の協
 力がなければ、決して実現
 しなかった行事だと思ふ。
 町や公共施設を歩いてみ
 て感じたことだが、まだま
 だ障害を持つ人には不便な
 ところが多かった。

♡ 本年残念な事が二つあつ
 た。秋の大野台ドライブ、
 秋の屋外昼食会が、悪天候
 の為に中止になったことだ
 ある。来年は天気に恵まれ
 るよう、いまから心したい。

♡ 一月に入って映画会が
 始まった。皆の意見をきく
 と、時代劇の要望が強い。

これをうけて、第一回目
 は、「旗本退屈男」を実施
 した。二時間近い映画だっ
 たが、なかなかの好評だっ
 た。第二回目は二月一二
 日を予定している。さてど
 んな映画の要望がでてくる
 か・・・一応月一回、三
 月までを予定している。

◇ ようやく介護訓練用のビ
 デオを入手した。職員の内
 練だけでなく、家庭で介護
 されている方の介護の手助
 けになればと考えている。

(生活指導員)